

1 単元名 「郷土の良さを伝えよう 『地域の魅力』の紹介文」

2 指導にあたって

○「郷土を紹介する」というテーマは、学習者が改めて自分の住んでいる地域と向き合い、新しい発見や良さの発掘を目指して学習意欲や興味関心を引き出せるものである。集めた情報をどうしたら効果的に伝えることができるか、そのための推敲作業を重ねる中で相手にものごとをわかりやすく伝える力を養うのに適した教材である。以上の点から、本教材は、生徒が普段関わりのない他県の生徒と交流する授業に適していると思われる。

○男子11名、女子11名のクラスである。生徒はこれまでに、校内意見発表会で聞き手を意識した意見文を書き、発表をする経験を行っている。また、トライやるウィークの報告会で資料や機器を用いて自身の経験と学びを発表する経験を行った。そこでは、考えを素直に文章に書き表すことができていた。しかし、聞き手を意識した発表をするまでにはいたっていない。

○本単元では、山口県山陽小野田市立厚狭中学校とクロムブックを使ってオンラインでつなぎ、自分たちの知らない場所に住んでいる他者に郷土を紹介することで、伝える力を効果的に育むことを狙いとしている。

指導においては、資料選び、発表資料・原稿の作成を行う際、坊勢を知らない相手にどのような工夫をすればテーマに沿った物事を分かりやすく伝えることができるのか考えさせる。発表テーマを考えさせる第1時では、例えば「坊勢の魚」といったような漠然とした形ではなく、「坊勢で獲れる魚と魚を使った郷土料理」のようにより内容を具体的にさせ、集めた情報から伝えたいことを絞り込むように指導を行う。また、どのように「効果的に発表を行うか」「何のために、何を伝えるか」を各班で話合わせ、「こだわりポイント」として発表の目的を明確にさせる。リハーサルでは、生徒間で評価を行うことで得られた気づきをもとに改善を行わせる。

発表本番では、相手の生徒の反応、振り返りの内容から坊勢の魅力が伝わったかを判断させ、効果的に発表ができたかどうかを振り返り、厚狭の生徒の発表を見た感想とその感想を持った理由をまとめさせる。今回の言語活動を通して、他者に紹介するために伝え方の試行錯誤を行う経験をさせ、自らが選んだテーマを効果的に伝える力を身につけさせたい。

3 単元の目標

- ・聞き手を意識しながら表現の効果を工夫し、県外の中学生に「地域の魅力」を発表する。
- ・発表を聞き、発表の手法や工夫点、内容の感想など、聞き取ったことを適切に表現する。

4 指導計画

- 第1時 テーマに沿った内容の立案
- 第2時 集めた情報を用い、発表の構成を決める。
- 第3時 資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。
- 第4時 伝え方を工夫したりハーサル
- 第5時 改善点をふまえたプレゼンテーション（本時）

5 小中一貫の視点

学年	小学校高学年	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
教材	日本文化を発信しよう	調べてわかったことを伝えよう	郷土のよさを伝えよう	編集して伝えよう
目標	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成、展開を考える。 引用や図表を用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ふだんの生活の中からテーマを決め、調べてわかったことを整理する。 調べて分かった事実や自分の考えがよく伝わるように、分かりやすい構成でレポートを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の中から題材を決め、多用な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込む。 読み手を意識しながら、表現の効果などを確かめて、文章を推敲する。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境について調べたいテーマを決め、集めた材料を検討し、伝えたいことを明確にする。 伝える目的や内容に適した文章の種類を選択し、構成や表現を工夫して書く。

6 本時の学習(全5時間 本時5/5)

(1) 目標

- リハーサルでの改善点をふまえてプレゼンテーションを行う。
- プレゼンテーションを聞いてメモを取り、重要なところをまとめる。

(2) 展開

【準備物】 クロムブック、プリント、ベル、スクリーン

【準備】 レクタイム中にミートの接続、生徒の画面に発表資料を表示する作業を終わらせる。

	学習活動	指導上の留意点と支援 ■評価						
導入 3分	○全体の目標と本時の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 単元の流れを確認し、より良い本番にすることを意識づける。 次回に向けて良い点・改善点を見つける機会でもあることを確認させ、聞き手としての意欲を高めさせる。 						
展開 42分	○発表の流れの説明を聞く <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・発表準備</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>・発表</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>・質疑応答</td> <td>1分(1、2人)</td> </tr> </table> ○発表をする 7班 (坊勢 3班、厚狭 4班) <ul style="list-style-type: none"> リハーサルでの改善点をふまえてプレゼンテーションを行う。 発表を聞きながらメモを取る。 	・発表準備	1分	・発表	3分	・質疑応答	1分(1、2人)	<ul style="list-style-type: none"> スムーズに発表準備ができるよう、発表班にはあらかじめ、発表資料を表示させておく。 発表者に時間を意識させるため、2分経過時と3分経過時にベルを鳴らすことを伝える。 スライドが共有できているか、音声は届いているか随時確認する。 目標を持って発表ができるように「発表のこだわりポイント」を確認させる。 ■リハーサルでの改善点をふまえてプレゼンテーションを行うことができているか確認する。 発表を聞き、良いと思った点、工夫されていると感心した点、改善すべき点など必ずメモを取るよう指示する。 発表後質問ができるように、メモを取るよう伝える。
・発表準備	1分							
・発表	3分							
・質疑応答	1分(1、2人)							

ま と め 5 分	○振り返りをし、次回への見通しを持つ ○各校一人発表する。	・グーグルフォームに授業の感想、次回発表者へのアドバイスを打ち込ませる。 ■本時の感想、次回発表者へのアドバイス(次回発表者は発表に活かしたい点)を打ち込ませる。
---------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

(3) 本時の評価規準

評価の観点	B(おおむね満足)	努力を要する生徒への手立て
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「こだわりポイント」に即した工夫を行い、実行ができています。 ・自身の発表を振り返り、次回発表者へのアドバイスを書き表すことができています。 ・発表を見て、自身の発表に活かす点を見つけ、表現ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「こだわりポイント」とそれに即した工夫を確認させ、リハーサル等もできているか確認させる。 ・振り返り、発表を聞く視点の確認を行い、視点を明確にさせる。
学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・坊勢・厚狭の発表を聞き、感想とその理由(根拠)を表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴きながら感じたことをメモに取らせ、振り返りを行いやすいよう準備をさせる。